

令和7年2月17日
道路局国道・技術課

道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を2件採択します ～「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」募集の審査結果について～

新道路技術会議において、道路行政ニーズを実現するためFS(フーズビリティスタディ)研究・短期研究として2件採択します。

引き続き、令和7年度のFS研究・短期研究を、継続して募集しています。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議を設置しています。

令和4年度から道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を立ち上げ、通年募集し年間4回、合計10件程度を採択することとしています。

今回、11月末までに応募のあった3件について新道路技術会議において審議し、別紙の2件を採択することとしました。

※FS研究：本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの

短期研究：短期的に実施可能な小規模な研究開発

<応募の審査時期>

応募	審査	採択
5月～6月	7月	—
7月～8月	9月	—
9月～11月	12月	2件(今回)
12月～2月	3月	(募集中)

<応募要領等>

- FS研究・短期研究 募集要領及び提案様式
(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/shinki/koubo.html>) 国土交通省 HP
- 道路行政の技術開発ニーズ
(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>) 国土交通省 HP

<問合せ先>

道路局 国道・技術課 企画専門官 本村、係長 東川

代表：03-5253-8111（内線 37862、37866）、直通：03-5253-8498



＜ソフト分野＞

FS/短期	道路行政ニーズ	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
短期	提案型研究開発	再生可能エネルギーと電動車両の協調による低炭素型地域交通・エネルギー自立システム構築についての技術研究開発	本研究は、地域コミュニティを対象として、駐車・充電・エネルギー供給条件を与件としたときの、再生可能エネルギーと電動車両の協調利用により交通・電力の双方で自立的運用を実現するために必要となる電動車両の導入規模を明らかにし、低炭素型地域モビリティ・エネルギー基盤のシステムモデルを構築するものである。	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 准教授 シュマツカーヤ ンディヤク（Jan-Dirk Schmöcker）

＜ハード分野＞

FS/短期	道路行政ニーズ	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
FS	トンネルの本体工の状態把握技術	電気式コーン貫入試験によるシールドトンネル外周地盤調査	社会インフラの維持管理や老朽化対策の問題が指摘されるなか、シールドトンネル道路も例外ではなく効率的な補強法や長寿命化対策が求められている。本研究では既設シールドトンネル外周地盤の調査方法として電気式コーン貫入試験（CPT）の適用を目指し、その実現性や技術的に克服すべき課題について整理するものである。	大成建設株式会社 技術センター 生産技術開発部 地下空間技術開発室 次長 渡辺 正嘉

研究開発の分類

分類	本格研究	FS研究	短期研究
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道路行政の技術開発 ・提案型研究開発 	ニーズに対応する研究開発	
		本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの	短期的に実施可能な小規模な研究開発
研究規模	500万円程度から最大5,000万円/年	最大300万円/年	
研究期間	最大3年間程度	最大1年間程度	1年間程度/回 (同じテーマで連続2回まで申請可能)
募集・採択	年1回募集し毎年3月頃に採択を決定 年間5件程度の採択を想定	通年随時募集し年間4回採択を決定 年間10件程度の採択を想定	